

当院の 10 年間における MRSA 院内発生率とその影響要因の検討:

手指衛生指数、抗菌薬使用密度、およびコロナパンデミックの影響

1. 研究の対象

対象: 2013年4月1日～2023年12月31日の間に入院された全入院病客さま

2. 研究目的・方法

MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)による感染は、皮膚の感染から重い病気に至るまで、さまざまな症状を引き起こすことがあり、世界的に薬剤耐性菌問題として懸念されています。

病院内で MRSA が増える理由として、不適切な抗菌薬の使用や、手洗いや手指消毒が不十分な医療従事者を通じて広がることが知られています。

当院では、MRSA の院内発生を防止するため、感染源の特定、手洗いや手指消毒を中心とした感染対策、抗菌薬の適切な使用、そしてハイリスクな病客さまへの適切なサポートなど、さまざまな取り組みを進めています。特に、コロナパンデミックの影響を受けて、手指衛生を中心とした感染対策の意識が高まっています。

この研究の目的は、当院の 10 年間の MRSA 院内発生率と、それに影響する要因を調査・評価することです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

データソース: 院内感染対策サーベイランスデータ

4. 外部への試料・情報の提供

研究結果は、2024 年 9 月 1 日発行の心臓病センター榊原病院雑誌での公開を予定しています。

外部への資料・情報提供はありません。

5. 研究組織

心臓病センター榊原病院

6. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

心臓病センター榊原病院

住所: 岡山市北区中井町 2-5-1

電話: 086-225-7111

担当者: 感染対策担当 田村幸二

研究責任者: 感染対策担当 田村幸二